

# 「ユニバーサルデザイン」を知っていますか？

ユニバーサルデザインは、障害や年齢、国籍、性別などを問わず、すべての人が暮らしやすいように「まちづくり」、「ものづくり」、「環境づくり」、「サービス」などを行っていかこうとする考え方です。

誰でもいつかは、歳をとり老いていきます。また、まちには小さな子どもや身体に障害のある人もいます。足の速い人も遅い人もいます。右利きの人も左利きの人もいます。

これからは、これまで以上に、誰もが暮らしやすい豊かなまちづくりを推進することが求められています。

本市では、「ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくり」を、今年度の重点施策の一つとして位置づけ、その推進に向けた具体的な方策などの研究を行うため、職員による都留市ユニバーサルデザイン研究会を設置いたしました。

研究会では、今後、本市の現状を把握する中、推進に向けた指針作成を行うこととしております。

**ユニバーサルデザインに対する皆さまのご意見をお寄せください。**

## 例えばこんなことがユニバーサルデザインです

### ユニバーサルデザインと

#### バリアフリーの違い

バリアフリーは、障害を持つ人が社会生活をする上で障害(バリア)となるものを取り除くことをいいますが、ユニバーサルデザインは、事後的な対応ではなく、はじめからすべての人のニーズを考慮し、生活や活動しやすい環境づくりを行うものです。

※「ユニバーサルデザイン」は、「ユニバーサル(すべての、普遍的な)」と「デザイン(計画、設計、構想)」の2つを組み合わせた言葉。



子ども・車いすでも対応できるカウンター



誰でも簡単に使えるタッチパネル式のパソコン



わかりやすい案内表示

問合先 政策形成課 政策担当

Eメール

seisaku@city.tsuru.yamanashi.jp

問合先 政策形成課 政策担当

Eメール seisaku@city.tsuru.yamanashi.jp

中間報告書により、3市町村の現況を市民の皆さんに広くお知らせするため、本市ホームページで公開すると共に各自治会長にも送付してあります。  
また各地域コミュニティセンターなどの公共機関でもその中間報告書の「概要版」を配布していますので、高覧ください。

- 【中間報告書の内容】
- 1 市町村を取り巻く潮流
  - 2 都留市・西桂町・道志村の地勢と沿革
  - 3 都留市・西桂町・道志村の現況
  - 4 都留市・西桂町・道志村の繋がり
  - 5 行政水準・行政サービスの比較
  - 6 国・県の支援策
  - 7 都留市・西桂町・道志村合併データ
  - 8 資料



中間報告書の調査項目は全8項目、104ページになります。

7月広報「シリーズ13」でお知らせしたように、都留市、西桂町及び道志村の広域的まちづくりに関する調査研究を行うため設置された職員による都留市・西桂町・道志村合併研究会によって、3市町村が合併した場合のまちづくりの方向性などの論議を深めるための基礎資料となる『都留市・西桂町・道志村広域まちづくり研究報告書(中間報告)』を作成(平成15年6月)しました。

〈シリーズ14〉 市町村合併を考える